

「たしざん」ができるためには数の合成・分解について理解する必要があります。合成・分解を理解した後、和が 10 までのたしざんに取り組みます。○や線を書いて、それを数えて答えを出す「数えたし」をする段階の児童生徒たちに、有効な教材を集めました。合成・分解について学ぶ中で、数を量でとらえる練習を十分にすることが必要となります。

和が 10 までのたしざんを学習し、次にくり上がりのたしざんに進む段階においては、「あといくつで 10 になるか？」という 10 の補数の理解が必要です。和がちょうど 10 になるたしざんの学習を行うことも有効です。

10 の補数を理解することで、1の位で 10 のまとまりを作り、10 の位にくり上がるという、くり上がりの仕組みがわかるようになります。

ここでは、「合成・分解」「和が 10 までのたしざん」「10 の補数の理解」の3つに分けて、教材を集めました。